

(5) 本時の展開

時刻	No. 学習活動, ○活動内容, ・留意点や児童の反応等, ◇教科面の支援, ◆自立活動面の支援, ☆評価					
	A	B	C	D		
0分	<p>全体のめあて お店屋さんごっこをして, おかしづくりの買い物の練習をしよう。</p> <p>○本時の学習メニューを確認する。 ○各学年の問題・めあてをつかむ。 ・自立活動での実際の買い物をゴールとすることで, 意欲を高める。</p>			<p><1年生> 1. プリント 2. 見本を見る 3. 商品づくり 4. まとめ 5. お店屋さんごっこ</p>	<p><4年生> 1. プリント 2. 問題をつかむ 3. めあてを書く 4. 値札をつける 5. まとめ 6. お店屋さんごっこ</p>	<p><5年生> 1. 問題をつかむ 2. 見通しを持つ 3. めあてを書く 4. ワークシート 5. まとめ 6. お店屋さんごっこ</p>
3分	<p>1. 既習事項の確認 ○どっちがおおい? プリント学習 ◆「①数える方法」「②ブロックを置いて並べて比較する方法」の2種類の解決方法から1つ選ぶ。自己決定させる。 ○数を見付けよう! プリント学習 「1」に全部○をつけよう! 「2」に全部○をつけよう! 「3」に全部○をつけよう! ・本時は○をつけずに回収のみとする。</p>	<p>1. 既習事項の確認 ○プリント学習 ・かけ算の計算問題をする。 ・位を揃えることを意識させる。 ・裏面に答えを印刷しておく。 ・自分で, 答え合わせ, 直しをする。</p>	<p>1. 問題をつかむ ○お客さん役をして買い物ごっこをすることを確認する。 問 1 4人でお菓子作りパーティをするのに, 必要な材料を買いに行きます。1200円お金を持っています。お金が足りなくならないように, 買うものを決めましょう。なるべく多く買います。消費税は含まれています。 ◇場面が視覚的に分かる様に, 近くのスーパーの写真を掲示する。 ・全部, そのまま計算すると時間がかかるが, お金が足りなくなると大変であるが, なるべく多くのものを買いたいということを確認する。 ◆自立活動で, 買い物に行って, お金が足りなくなった経験を想起させる。 ・これまで習ったことを使って, 簡単に計算する方法はないか問う。 ・概数に直して計算するといいい。概算するといいい。 ・まだ, 商品が完成していないので, 練習問題を解きながら, 方法を考えることを伝える。 2. 活動や考えの見通しをもつ ○概数に直す方法はいくつあったか, 既習掲示をもとに考えさせる。 ・切り上げ, 切り捨て, 四捨五入の3種類。 ・3つのうち, どの方法を使えば, 持っているお金を越えないように買い物ができるか, 前時の学習をもとに選ぶ⇒「切り上げ」 ◇代金(支払わないといけないお金)⇒買ったもの全てを合わせた値段 予算(持っているお金)という言葉を確認する。 ◇前時で学習した代金が予算を越えない限り, お金は足りる。1円でも越えると, お金が足りないということをテープ図で再確認する。また, 四捨五入では, 予算を超える場合があることも意識させる。</p>			

10分

2. 問題をつかむ

○お店屋さん役をすることを確認する。

㊟ 商品を作って並べよう。

◇完成品の例（実物）を示し、イメージさせる。

・4年生と協力してお店さんの準備をすること、完成したら4年生にチェックしてもらうことを確認する。

◆レジや帽子など小道具で臨場感を高める。

15分

3. 活動や考えの見通しをもつ

○同じものがいくつか袋に入って、1つの商品になることを確認する。

㊟ 数を数えて、見本と同じ商品を作ろう。



2. 問題をつかむ

○お店屋さん役をすることを確認する。

㊟ 商品の値段を求めて、値札を付けよう。

◇完成品の例（実物）を示し、イメージさせる。

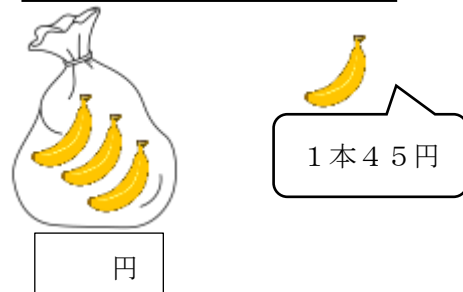
・1年生と協力して準備すること、1年生ができたかチェックをしてあげることを確認する。

◆レジや帽子など小道具で臨場感を高める。

3. 活動や考えの見通しをもつ

○同じものがいくつか袋に入って、1つの商品になることを確認する。

㊟ 1ふくろの値段を計算で求めよう。



◆生活場面とつなげて、役に立つ学習であると意識づけるため、自立活動の時間にお金がいなくなって、買いたいものが買えなかった経験を想起させる。

代金(950円)	代金(1200円)	代金(1250円)
予算(1200円)	予算(1200円)	予算(1200円)
足りる!	足りる!	足りない!

㊟ 持っているお金が足りるか、考えよう。

3. 自力解決をする

○別紙ワークシートの問題を解く。

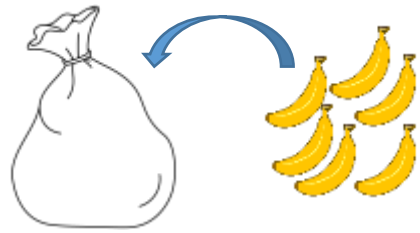
- ・予算500円、文房具、3種類の品物を買う場面設定とする。消費税は考えない。
- ・普通に計算する方法だと、時間がかかることを確認する。
- ・切り上げを使って上から1けたの概数で計算させ、いくつも組み合わせを見付けさせる。
- ・組み合わせは2人がかぶらないように、カードを用意し、そこから引かせて選ばせる。

- ・計算機を使わせ、実際の代金を計算させ、切り上げで足りれば、本当に足りるのか確かめさせる。
- ・どうして、何度やっても切り上げで足りれば、必ず足りるのか、ワークシートに理由を書かせる。

◇話型を与え、考え方の見通しをもたせる。

「切り上げを使って概数に直して、代金を計算すると必ずお金が足りる。わけは、切り上げて概算すると、実際の代金より必ず(大きくなる・小さくなる)ので、概算した答えが予算を越えなければ足りるからです。」

のり 166円	ボールペン 178円	はさみ 286円	定規 132円	マジック 84円	ホッチキス 195円



◇担任と一緒にやりながら，商品作成の方法を理解させる。

- ・もの1つずつの値段は分かっていることを確認する。一袋の値段を求めるには，どんな計算をすればいいか問う。
- ・多分，たし算です。かけ算かな。
- ◇ピンと来ない場合は，全部45円で，同じ数（値段）ずつになっており，全部の値段を合わせた数を求めることを確認する。「ずつ」を強調して既習事項とつなげる。

$$45 + 45 + 45 = 45 \times 3$$

- ・（のり）と（マジック）と（ボールペン）は（買える・買えない）。

しき $\frac{200}{166} + \frac{100}{84} + \frac{200}{178} = \text{約} 500$ 500円より少なくなるから，買える。

- ◇上から2けたの概数にしたがる児童には，「正確に代金が分かっているね。」と認めつつ，計算が難しくなるので，暗算で出来なければ上から1けたの概数がよいことを伝える。
- ◇本来は20種類の組み合わせがあるが，混乱を避けるため，2種類意図的に減らしておく。（切り上げで概算すると予算オーバーとなるが，実際は予算内で足りるもの）

20分

3. 自力解決をする

- ①見本に，いくつ入っているか数える。
 - ②同じ数だけ袋に入れる。
 - ③袋をモールで結ぶ。
 - ④4年生に見せる。（繰り返し）
- ◆1対1対応させて，袋に入れていたら褒める。
 - ◆1本ずつ，数を覚え，数えて袋に入れていたら褒める。
 - ◆4年生に助けを求めることが出来たら褒める。

4. できたことを振り返る

- 自分ひとりで，商品を作る。
- 終わったら，値札を付けられた商品を並べる。
- ☆1から5まで正確に数えて，見本と同じ商品を作ることができる。

㊸ 数を数えて，ばっちり商品ができた！

- ・できたことをしっかりと評価する。

3. 自力解決をする

- 手順表をもとに商品づくりをする。
- ・まずは，見本に値札を付ける。既習の（2けた）×（1けた）のかけ算の筆算を使う。
- ・1年生が完成させた商品が見本と同じになっているかチェックする。できていたら値札を付ける。

$$\text{式 } 45 \times 3 = 135$$

答え 135円



135円

$$\begin{array}{r} 45 \\ \times 3 \\ \hline 135 \end{array}$$

- ・位を揃えること，繰り上がりの数を小さく書くことを確認する。

4. 分かったことをまとめる

- どうしてかけ算で，商品の値段が分かるのか，理由をノートに書く。
- ・同じ値段を何回も足す時は，かけ算を使うから。

4. 集団解決・まとめをする

- ・時間になったら，学習リーダーが進める。
- ・「ぼくは，～と～と～の組み合わせは500円で買えると見付けました。」

<買える>

マジック・定規・のり

マジック・のり・ボールペン

定規・のり・ホッチキス

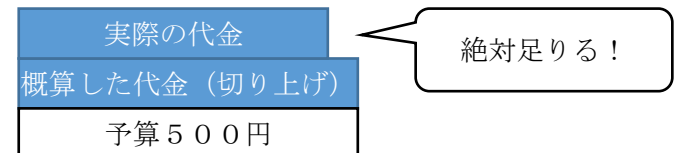
<買えない>

のり・ボールペン・はさみ

マジック・定規・はさみ

定規・ボールペン・ホッチキス

- ・「わけは，切り上げて概算すると，実際の代金より少し高くなるので，概算した答えが予算を越えなければ絶対に足りるからです。」



㊸ 値段を切り上げて，足していく。概算した代金が予算を越えないなら，足りる。

32分

- ☆ (C 児) ヒントカードの話型を最大限活用し，切り上げをする理由を説明することができる。

- ☆ (D 児) 切り上げをする理由を言葉や図で説明することができる。

- ◇四捨五入でやりたがる場合は，「定規」「ボールペン」「ホッチキス」や「マジック」「定規」「はさみ」を買う計算をさせて，お金が足りなくなるということに気付かせる。

		<p>☆かけ算の筆算が正確にできる。累加の場面とかけ算を結び付けて考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>㊟ 同じ数を何回か足すときは、かけ算を使う。</p> </div> <p>◇同じ数「ずつ」というキーワードに着目させる。</p> <p>○振り返りを書き、発表する。</p> <p>・かけ算で値段を計算するのは簡単でした。かけ算を使う時がよく分かりました。</p>	<p><定規・ボールペン・ホッチキスの代金を四捨五入で概算すると></p> $\begin{array}{r} 00 \quad 200 \quad 200 \\ 132 + 178 + 195 = 500 \end{array}$ <p>約500円となり、足りそうだが、実際は</p> $132 + 178 + 195 = 505$ <p>で 5円足りなくなる。</p> <p>○振り返りを書き、発表する。</p> <p>・切り上げをして足していくと、必ず足りるので、実際の買い物でも使ってみようと思った。</p> <p>・上から1けたの切り上げなら、簡単な計算で、すぐにお金が足りるか確実に分かるのでいいなと思った。</p>
<p>38分</p> <p>45分</p>	<p>5. お店屋さんごっこをする</p> <p>○お店屋さんごっこをする。</p> <p>「いらっしゃいませ。」</p> <p>「～ください。」と言われて、「どうぞ。」と手渡すやり取りをする。</p> <p>・しっかり時間を取ることで、本時の活動に達成感が得られるようにする。</p> <p>☆自分の役割を理解し、おみせやさんごっこを協力して、一生懸命やっている。</p>	<p>6. お店屋さんごっこをする</p> <p>○レジ打ちをする。計算は、レジについている計算機を使ってよい。手順表を見ながら行う。</p> <p>①商品の値段を全部足す。メモする。</p> <p>②お客さんが出したお金から、商品の値段を引く。</p> <p>③商品と、おつりを渡す。</p> <p>☆自分の役割を理解し、おみせやさんごっこを協力して、一生懸命やっている。</p>	<p>5. お店屋さんごっこをする</p> <p>○お客さん役になって、おかしづくりの材料を買い、切り上げの方法で、お金が足りるか確かめる。</p> <p>☆おかしづくりの材料を選び、切り上げで予算内に収まるか、確かめることができる。</p>